

第34回 花巻市景況調査結果

(平成30年7月～9月期)

花巻市景況調査

花巻市内中小企業 100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は96%。

DI値・・・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。DI値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断DI 1ポイント好転」(▲20.5→▲19.5)
- 「売上額DI 2.6ポイント減少(▲16.8→▲19.4)」

業況判断DI ▲19.5(全国平均▲15.6)

花巻市の業況判断DIは、今期全産業平均でマイナス幅が1ポイント縮小(▲20.5→▲19.5)し3期連続で好転した。

業種別に見ると、製造業、建設業が10ポイント以上の好転を示し、小売業は22.9ポイント増と大きく好転した。

これに対し、卸売業、サービス業は前期好転が見られたが、今期は卸売業が33.3ポイントマイナス幅が拡大、サービス業も11.1ポイントマイナス幅が拡大している。

来期予想は、今期好転した製造業、建設業、小売業は悪化を予想しており、卸売業は低水準のまま横ばい、サービス業はわずかに好転を予想している。

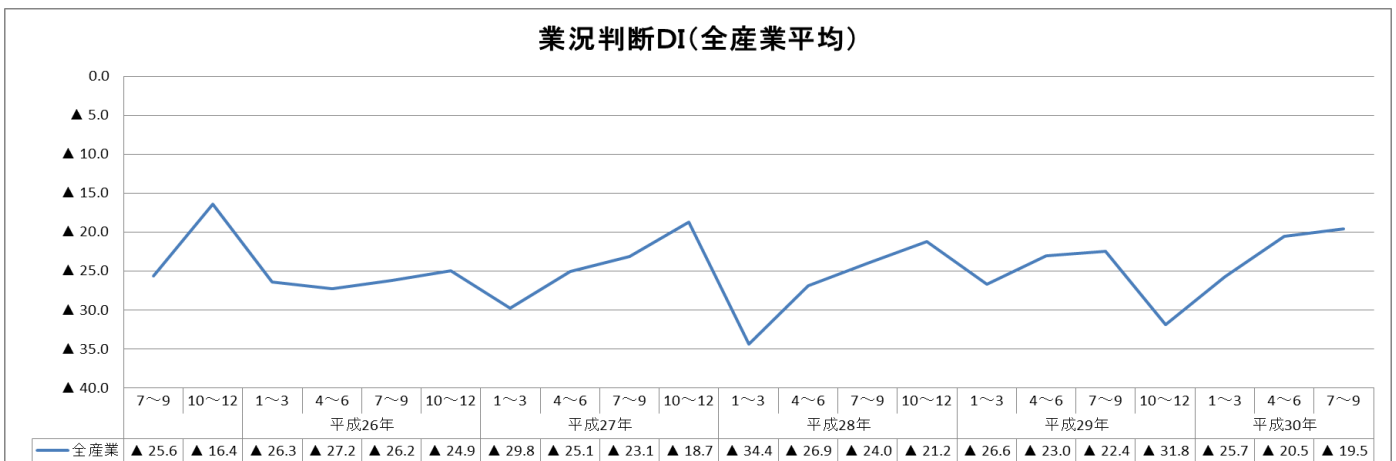
全国の調査結果では、全産業平均の業況判断が1.6ポイント減少(▲14.0→▲15.6)となり、2期連続で低下した。(製造業2.0ポイント減、非製造業1.3ポイント減)

東北経済産業局管内では、6県平均1.0ポイントマイナス幅が拡大(▲19.0→▲20.0)している。業種別では製造業が▲0.1ポイントとわずかにマイナス幅が拡大(▲15.5→▲15.6)し、非製造業も1.3ポイントマイナス幅が拡大(▲19.9→▲21.2)している。

業況判断(前期比)		平成26年					平成27年					平成28年					平成29年					平成30年			前期増減	末期予想
年	月期	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	1~3	4~6		
製造業		▲11.1	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲5.6	▲5.6	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲22.2	▲27.8	▲5.6	▲27.8	▲11.1	↗	16.7	▲16.7	
建設業		▲10.0	0.0	▲5.0	▲10.0	▲5.0	▲15.0	▲20.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲40.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	↗	10.0	▲15.0	
卸売業		▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲33.3	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲44.4	▲22.2	▲11.1	▲44.4	↘	▲33.3	▲44.4	
小売業		▲45.7	▲42.9	▲60.0	▲37.1	▲37.1	▲42.9	▲40.0	▲48.6	▲40.0	▲40.0	▲48.6	▲40.0	▲37.1	▲28.6	▲34.3	▲42.9	▲40.0	▲42.9	▲51.4	▲37.1	▲14.3	↗	22.9	▲31.4	
サービス業		▲16.7	16.7	▲5.6	▲22.2	▲38.9	▲16.7	▲33.3	▲33.3	▲22.2	▲5.6	▲27.8	▲33.3	▲27.8	▲27.8	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲44.4	▲16.7	▲27.8	↘	▲11.1	▲22.2	
全産業		▲25.6	▲16.4	▲26.3	▲27.2	▲26.2	▲24.9	▲29.8	▲25.1	▲23.1	▲18.7	▲34.4	▲26.9	▲24.0	▲21.2	▲26.6	▲23.0	▲22.4	▲31.8	▲25.7	▲20.5	▲19.5	→	1.0	▲26.0	

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

業況判断DI(全産業平均)



売上額DI ▲19.4(全国平均▲14.8)

売上額DIは、全産業平均で2.6ポイントマイナス幅が拡大(▲16.8→▲19.4)した。

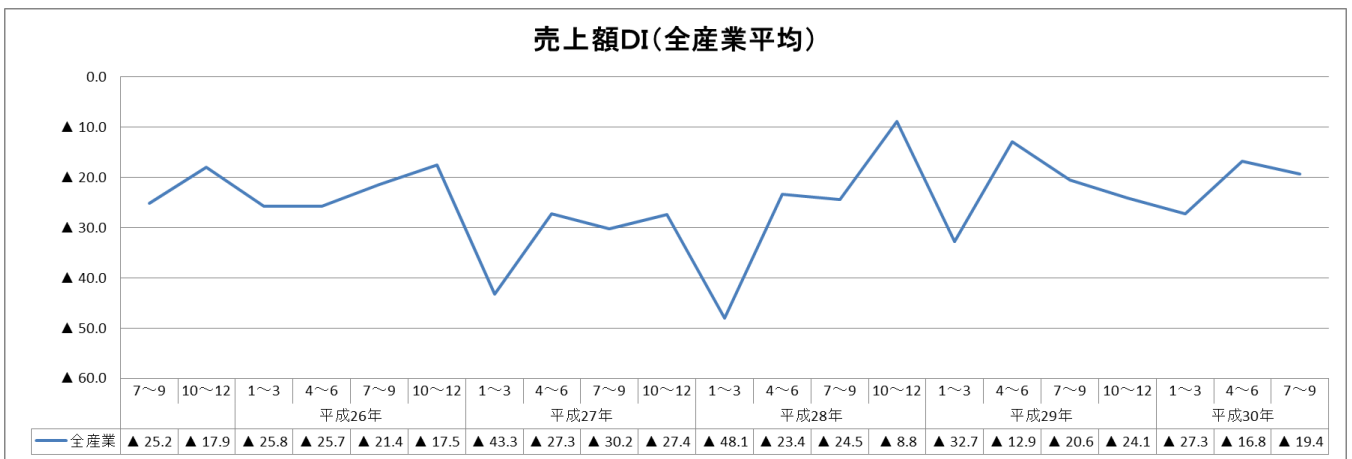
業種別に見ると、建設業が15ポイント増加、製造業、小売業が横ばい、卸売業、サービス業が減少している。

来期予想では、サービス業が持ち直しを予想しているが、他業種は悪化を予想している。特に卸売業、小売業の予想DI値は▲40前後と低水準となっている。

全国の調査結果では、全産業平均▲14.8(前期▲12.5)で2.3ポイントマイナス幅が拡大している。業種別に見ると製造業が▲11.1(前期▲8.3)とマイナス幅が2.8ポイント拡大、非製造業では▲16.0(前期▲13.8)とマイナス幅が2.2ポイント拡大している。

売上額DI(前期比)		平成26年						平成27年				平成28年				平成29年				平成30年			前期増減	来期予想	
年	月期	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9			
製造業		▲16.7	0.0	▲5.6	0.0	0.0	11.1	▲33.3	▲5.6	▲38.9	▲22.2	▲27.8	▲44.4	▲11.1	0.0	▲44.4	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲11.1	▲11.1	▲11.1	→	0.0	▲16.7
建設業		0.0	▲5.0	▲5.0	▲5.0	5.0	0.0	▲15.0	▲10.0	▲5.0	▲5.0	▲50.0	15.0	▲10.0	15.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲10.0	↗	15.0	▲15.0
卸売業		▲33.3	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲33.3	▲33.3	▲44.4	▲55.6	▲11.1	▲33.3	▲22.2	▲33.3	11.1	0.0	▲44.4	▲22.2	0.0	▲22.2	↘	▲22.2	▲44.4
小売業		▲42.9	▲45.7	▲68.6	▲51.4	▲28.6	▲48.6	▲57.1	▲48.6	▲62.9	▲54.3	▲57.1	▲42.9	▲45.7	▲25.7	▲31.4	▲42.9	▲48.6	▲31.4	▲48.6	▲25.7	▲25.7	→	0.0	▲37.1
サービス業		▲33.3	5.6	▲5.6	▲27.8	▲50.0	▲16.7	▲55.6	▲38.9	▲11.1	▲11.1	▲50.0	▲33.3	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲44.4	▲22.2	▲27.8	↘	▲5.6	▲16.7
全産業		▲25.2	▲17.9	▲25.8	▲25.7	▲21.4	▲17.5	▲43.3	▲27.3	▲30.2	▲27.4	▲48.1	▲23.4	▲24.5	▲8.8	▲32.7	▲12.9	▲20.6	▲24.1	▲27.3	▲16.8	▲19.4	→	▲2.6	▲26.0

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



経常利益DI ▲23.5(全国平均▲21.6)

経常利益DIは、全産業平均でマイナス幅が1.9ポイント拡大(▲21.6→▲23.5)した。

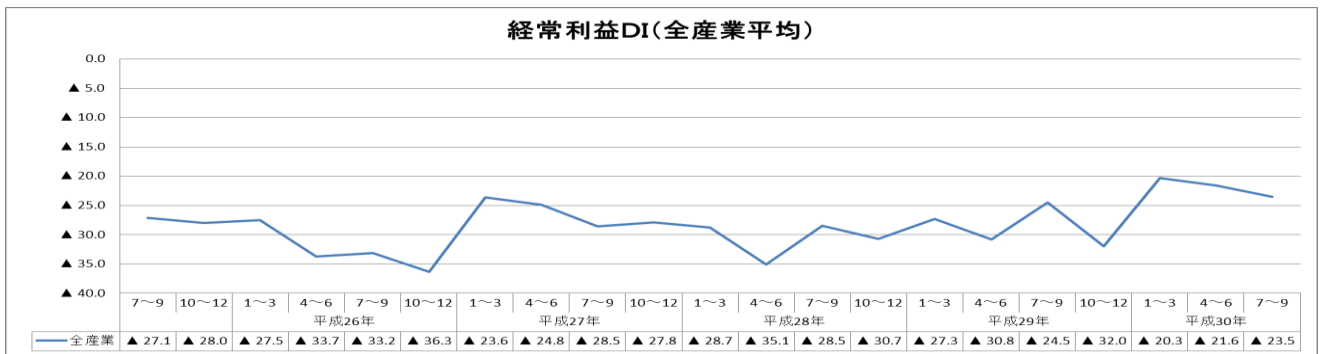
業種別では、製造業、小売業が5ポイント以上の好転、建設業、卸売業が10ポイント程度悪化、サービス業はDI値▲44.4と低水準のまま横ばいとなった。

来期予想では、製造業、建設業、サービス業が好転を予想、卸売業は横ばい、小売業は悪化を予想している。

全国値では、前期差2.2ポイント減(▲19.4→▲21.6)でマイナス幅が拡大している。

経常利益DI(前年同期比)		平成26年									平成27年				平成28年				平成29年				平成30年			前期増減		末期予想
年	月期	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	前期増減	末期予想				
製造業		▲27.8	▲22.2	▲16.7	▲33.3	▲33.3	▲27.8	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲16.7	▲11.1	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲22.2	▲22.2	▲16.7	▲27.8	▲5.6	▲16.7	▲11.1	↗	5.6	▲5.6			
建設業		▲15.0	▲25.0	▲25.0	0.0	5.0	▲5.0	0.0	▲20.0	▲5.0	▲10.0	▲20.0	▲35.0	▲30.0	▲5.0	▲30.0	▲30.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲15.0	▲25.0	↘	▲10.0	▲15.0			
卸売業		▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲33.3	▲44.4	▲44.4	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲55.6	0.0	▲22.2	▲11.1	0.0	0.0	↘	▲11.1	0.0			
小売業		▲37.1	▲42.9	▲51.4	▲62.9	▲48.6	▲60.0	▲45.7	▲48.6	▲54.3	▲51.4	▲51.4	▲51.4	▲45.7	▲37.1	▲40.0	▲57.1	▲57.1	▲57.1	▲51.4	▲42.9	▲37.1	↗	5.7	▲40.0			
サービス業		▲22.2	5.6	0.0	▲38.9	▲44.4	▲44.4	▲38.9	▲33.3	▲27.8	▲38.9	▲38.9	▲38.9	▲27.8	▲38.9	▲44.4	▲22.2	▲27.8	▲50.0	▲44.4	▲44.4	▲44.4	→	0.0	▲38.9			
全産業		▲27.1	▲28.0	▲27.5	▲33.7	▲33.2	▲36.3	▲23.6	▲24.8	▲28.5	▲27.8	▲28.7	▲35.1	▲28.5	▲30.7	▲27.3	▲30.8	▲24.5	▲32.0	▲20.3	▲21.6	▲23.5	→	▲1.9	▲19.9			

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



資金繰りDI ▲18.1(全国平均▲11.9)

全産業平均で7.6ポイントマイナス幅が拡大(▲10.5→▲18.1)した。

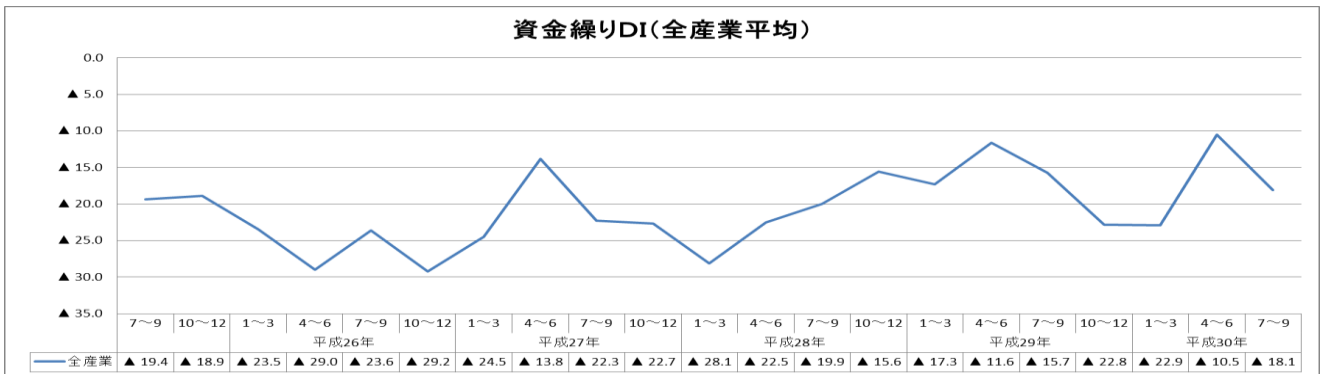
業種別に見ると、製造業と小売業が5ポイント程度の好転、その他業種は悪化している。特に前期大きく好転を示した卸売業が33.3ポイント減と前々期水準まで悪化した。

来期予想では、建設業、卸売業、サービス業が好転、製造業と小売業は悪化を予想している。

全国値では、全業種平均前期差2.2ポイント減で、マイナス幅が拡大し悪化を示している。

資金繰りDI(前期比)		平成26年									平成27年				平成28年				平成29年				平成30年			前期増減		末期予想
年	月期	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	前期増減	末期予想				
製造業		▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲27.8	▲22.2	▲22.2	▲22.2	5.6	▲16.7	▲22.2	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲5.6	▲5.6	▲11.1	▲11.1	▲22.2	0.0	▲5.6	0.0	↗	5.6	11.1			
建設業		▲10.0	▲10.0	▲5.0	▲5.0	5.0	▲20.0	▲5.0	▲10.0	▲10.0	▲15.0	▲20.0	▲20.0	▲10.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	▲15.0	↘	▲5.0	▲10.0			
卸売業		▲33.3	▲44.4	▲44.4	▲55.6	▲33.3	▲44.4	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲33.3	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲11.1	11.1	0.0	▲33.3	▲22.2	11.1	▲22.2	↘	▲33.3	▲11.1			
小売業		▲25.7	▲40.0	▲45.7	▲34.3	▲28.6	▲42.9	▲28.6	▲31.4	▲45.7	▲37.1	▲42.9	▲31.4	▲28.6	▲22.9	▲31.4	▲31.4	▲34.3	▲31.4	▲37.1	▲25.7	▲20.0	↗	5.7	▲28.6			
サービス業		▲16.7	11.1	▲11.1	▲22.2	▲38.9	▲16.7	▲44.4	▲22.2	▲16.7	▲5.6	▲44.4	▲22.2	▲16.7	▲22.2	▲33.3	▲16.7	▲33.3	▲22.2	▲50.0	▲22.2	▲33.3	↘	▲11.1	▲16.7			
全産業		▲19.4	▲18.9	▲23.5	▲29.0	▲23.6	▲29.2	▲24.5	▲13.8	▲22.3	▲22.7	▲28.1	▲22.5	▲19.9	▲15.6	▲17.3	▲11.6	▲15.7	▲22.8	▲22.9	▲10.5	▲18.1	↘	▲7.6	▲11.0			

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



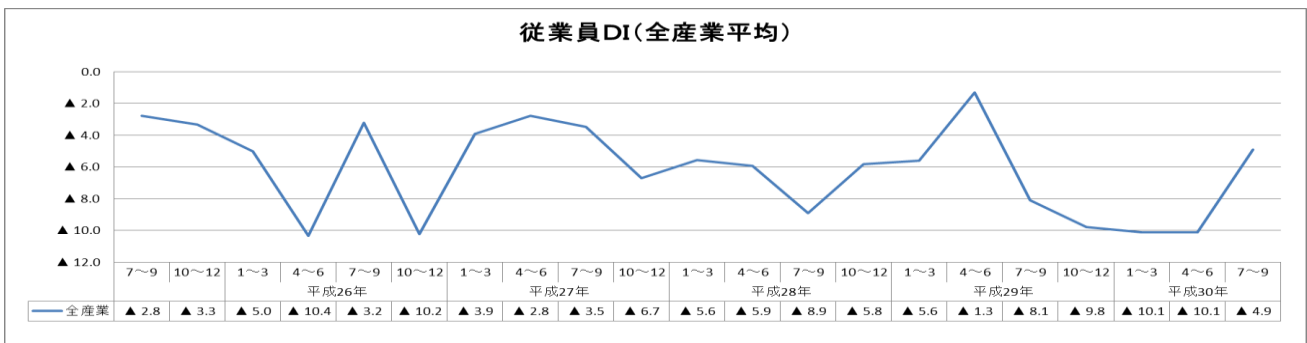
従業員DI ▲4.9(全国平均▲4.0)

従業員数DIは、平成29年7～9月期より減少傾向が続き前期▲10.1となったが、今期は5.2ポイント増加し▲4.9となった。

産業別にみると、製造業、建設業、卸売業で増加、小売業が横ばい、サービス業が減少となった。全国調査の従業員DIは、全産業ベースで前期▲3.4→今期▲4.0とマイナス幅が0.6ポイント拡大した。(従業員数過不足DI値は8期ぶりにマイナス幅が1.3ポイント拡大し、不足感の強まりを示した)

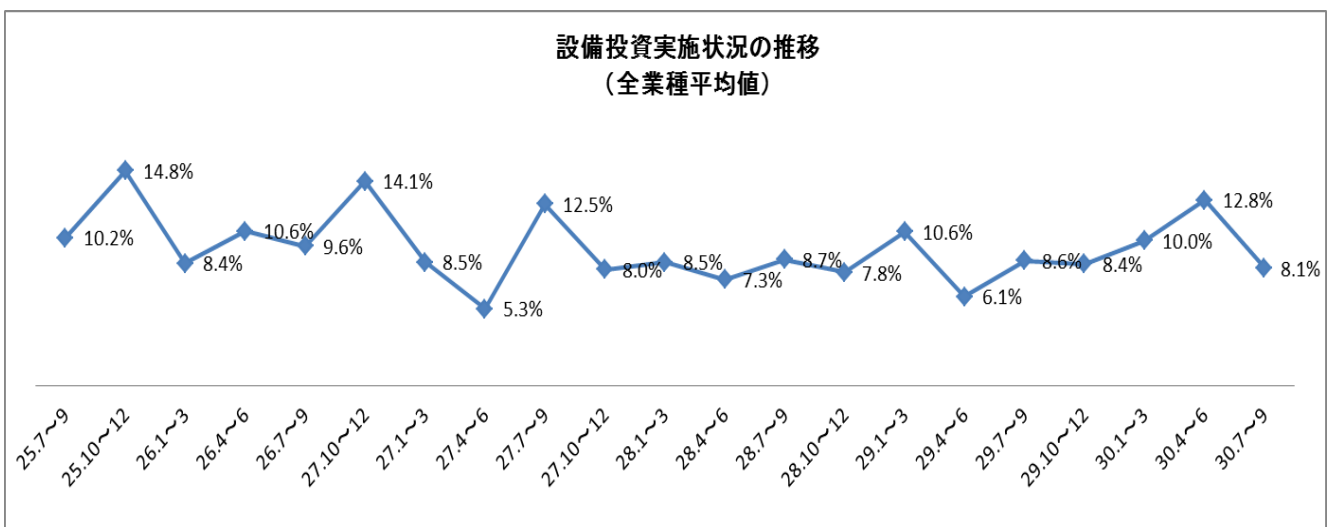
年	従業員DI(前年同期比)																		前期増減	末期予想				
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12						
製造業	0.0	▲5.6	▲11.1	▲5.6	▲5.6	▲11.1	▲16.7	▲5.6	0.0	▲11.1	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲5.6	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲16.7	/	5.6	▲22.2	
建設業	0.0	0.0	0.0	▲10.0	▲5.0	▲15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲15.0	0.0	5.0	▲15.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲5.0	/	15.0	▲15.0
卸売業	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲22.2	0.0	▲22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	▲11.1	0.0	▲11.1	0.0	/	11.1	0.0
小売業	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	▲2.9	▲5.7	▲5.7	0.0	▲8.6	▲2.9	▲8.6	▲5.7	▲5.7	▲14.3	▲11.4	▲2.9	▲2.9	▲2.9	→	0.0	▲2.9
サービス業	0.0	0.0	0.0	▲11.1	▲5.6	0.0	0.0	▲5.6	▲16.7	▲16.7	▲11.1	0.0	0.0	0.0	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲11.1	5.6	0.0	\	▲5.6	0.0
全産業	▲2.8	▲3.3	▲5.0	▲10.4	▲3.2	▲10.2	▲3.9	▲2.8	▲3.5	▲6.7	▲5.6	▲5.9	▲8.9	▲5.8	▲5.6	▲1.3	▲8.1	▲9.8	▲10.1	▲10.1	▲4.9	/	5.2	▲8.0

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



■設備投資動向

- ・今期設備投資を実施した企業の割合は、8.1%（前期12.8%）と4.7ポイント減少した。
- ・来期設備投資を計画している企業の割合は6.1%であり、さらに2ポイント減少する見込み。
- ・全国値は今期17.4%で前期より0.6ポイント増加している。来期は更に1ポイント増加する見通し。



■直面している経営上の問題点

建設業	1位	従業員の確保難	21%	卸売業	1位	需要の停滞	26%
	2位	人件費の増加	14%		2位	仕入単価の上昇	21%
	3位	熟練技術者の確保難 材料価格の上昇	12% 12%		3位	人件費以外の経費増加	21%
製造業	1位	原材料価格の上昇	21%	サービス業	1位	需要の停滞	22%
	1位	需要の停滞	21%		2位	利用料金の上昇難	14%
	3位	生産設備の不足・老朽化	12%		3位	店舗・倉庫の老朽化	14%
小売業	1位	購買力の他地域流出	25%				
	2位	需要の停滞	14%				
	3位	消費者ニーズ変化	10%				

・全国調査における経営上の問題点の順位は以下の通り。

	1位	2位	3位
建設業	従業員確保難	官公需要の停滞	熟練技術者の確保難
製造業	需要の停滞	原材料価格の上昇	従業員確保難
小売業	大中型店との競争激化	需要の停滞	消費者ニーズの変化
卸売業	需要の停滞	仕入単価の上昇	従業員の確保難
サービス業	利用者ニーズの変化	需要の停滞	従業員の確保難